

次期総合5か年計画の全体構成素案

計画の位置付け

- 今後の県づくりの方向性を県民と共有し、共に取り組むための、いわば共創型の総合計画
- 概ね2035年の長野県の将来像を展望し、これを実現するための今後の5年間(2023～2027年度)の行動計画
- 県まち・ひと・しごと創生総合戦略
- SDGsの達成に寄与するもの

現状と課題

長野県を取り巻く状況

- 少子化と人口減少の急速な進行
- 東京一極集中から地方分散への動き
- 気候変動への対応や持続可能な社会の実現に向けた動き
- 自然災害や感染症などの脅威
- 激変する国際情勢
- 社会におけるデジタル化の急速な進展
- 社会に存在する様々な格差
- ライフスタイルや価値観の多様化

長野県の特徴

- 学びの風土と自主自立の県民性
- 自立分散型の県土
- 変化に富んだ豊かな自然環境
- 多様な文化と豊かな交流
- 大都市圏からのアクセスの良さ
- 全国トップレベルの健康長寿
- 地域で育まれてきた特色ある産業

政策構築・推進に当たっての共通視点

「長野県を取り巻く状況」を踏まえた視点

- 少子化と人口減少に立ち向かう
- 社会的共通資本を維持・発展させる
- 農山村地域を持続的に発展させる
- デジタル技術を徹底活用する
- 環境制約をチャンスにする
- 誰にでも居場所と出番がある社会をつくる
- 災害や新型コロナウイルス感染症の経験を生かす
- 世界とのつながりを常に意識する

「長野県の特徴」を踏まえた視点

- 学びと自治の力で未来を切り拓く
- 信州の強み・地域の個性を生かす

計画体系

基本目標

(暫定仮案)
確かな暮らしを守り、ゆたかな信州を創る

政策の柱(めざす姿)

施策の例

1 持続可能で安定した暮らしを守る

(めざす姿)

脱炭素社会の実現に向けた取組が着実に進み、生態系や水大気などの地球環境が保全されるとともに、頻発化・激甚化する自然災害から県民の生命・財産が守られている。
また、交通や水道などの社会的なインフラが維持されるとともに、充実した医療・介護サービスが提供され、犯罪や交通事故等の少ない社会で、誰もが安心して日常生活を送っている。

- 持続可能な脱炭素社会の創出
- 人と自然との共生社会の実現
- 良好な生活環境保全の推進
- 災害に強い県づくりの推進
- 持続可能なインフラ管理体制の構築
- 確かな暮らしを支える持続可能な地域公共交通の確保
- 健康づくりの推進
- 充実した医療・介護提供体制の構築
- 県民生活の安全確保 など

2 創造的で強靱な産業を育てる

(めざす姿)

成長産業の集積やリスクリングなどによる産業人材の育成・確保等が進み、産業の生産性が向上するとともに、成長と分配が好循環し、県民所得が向上している。
また、循環経済・地域内経済循環への転換が図られるとともに、生活必需産業の担い手が安定的に確保され、地域に根差した産業が活性化している。

- 成長産業の創出・振興
- 起業・スタートアップの増加・育成
- 稼ぐ力とブランド力の向上
- 産業人材の育成・確保
- 循環経済への転換の挑戦
- 地域内経済循環の推進
- 生活必需産業における担い手確保の推進
- 地域に根差した産業の活力向上 など

3 快適でゆとりのある暮らしを創造する

(めざす姿)

まちの緑化、自然を身近に感じる暮らしや、生活における利用者目線でのデジタル化が進むとともに、県民が様々な場面で文化芸術やスポーツに親しみ人間力を育むことで、心豊かでゆとりのある暮らしを送っている。
また、地域の関係者が自主的・主体的に地域づくりに取り組み、地域が持続的に発展している。
さらに、県外・海外からの観光のほか、県内への移住・多様ななかかわりが活発に行われ、住む人も訪れる人も長野県を楽しんでいる。

- 地域の特徴と自然の恵みを生かした地域デザインの推進
- デジタルの力を活用した便利で快適な暮らしの実現
- 持続可能な地域づくりの推進
- 本州中央部広域交流圏の形成
- 移住・交流・多様ななかかわりの展開
- 山岳高原観光地域づくりの推進
- 文化芸術の振興と文化芸術の力の様々な分野への活用
- 「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催を契機としたスポーツ振興の推進 など

4 多様性が尊重される温かく公正な社会をつくる

(めざす姿)

すべての若者の結婚・出産・子育ての希望が実現し、出生数の減少に歯止めがかかっている。
また、年齢・性別・国籍、障がいの有無などにかかわらず、誰もが個性や能力を発揮するとともに、ライフスタイルに合った働き方を選び、公正な待遇が確保され、自分らしく生きることができている。

- 若者の結婚・出産・子育ての希望実現
- 子ども・若者が夢を持てる社会の創造
- 年齢・性別・国籍、障がいの有無や家族の経済状況等が障壁とならない公正な社会の創出
- 働き方改革の推進と就労支援の強化
- 高齢者の活躍の支援 など

5 誰もが主体的に学び続けられる社会をつくる

(めざす姿)

すべての児童生徒、教職員にとって居心地のよい学校の中で、一人ひとりが持つ「好奇心」や「探求心」を伸ばす中で、能力が引き出され、自分にとっての幸福を実現できる学びに取り組んでいる。
また、学校だけでなく、学校外にも多様な学びの機会が確保され、子どもたちが個別最適に学べるとともに、リカレント教育やリスクリングなど生涯にわたって学べることができている環境が整っている。

- 一人ひとりが自分にとっての幸福を実現できる学びの推進
- 高校改革の推進や特色ある学びの振興
- 高等教育の振興
- 一人の子どもも取り残さない「多様性を包み込む」学びの環境の創出
- 生涯にわたり学び合える地域拠点の創出 など

地域計画

- ・佐久
- ・上田
- ・諏訪
- ・上伊那
- ・南信州
- ・木曾
- ・松本
- ・北アルプス
- ・長野
- ・北信

地域のめざす姿

地域重点政策
・現状と課題
・取組内容
・評価指標

戦略的なプログラム

施策の総合的展開

計画推進の基本姿勢

- 県民とのパートナーシップによる行政運営を推進する
・県民起点の意識づけを徹底する
・主体性とホスピタリティを持ち、スピーディーに行動する
・県民参加による対話型の行政運営を推進する
・多様なステークホルダーとの共創を推進する
- 市町村等との連携を推進する
- 地方分権の推進に取り組む